

RCIJ シラバス

- Syllabus2021 -



RC 技能認定第 1 種

改定：2021.02.03

● 講座の目的と到達目標

RCIJ ではリスクコミュニケーションを、「有事の際に内外のステークホルダーと、適切なコミュニケーションを図ること。これを迅速に実現するため、平時より準備を進めること。」と定義しています。

認定講座の目的（ねらい）は平時/有事それぞれにおいて、リスクの可視化と対策を軸に、各専門領域のセッションや人材とコミュニケーションをはかり、広い視野で会社や組織の《危機に対する万全の状態》を実現・維持する人材を育成することです。

● 講座の種類と特徴

基本的な要素を抑えることを目的とした、未経験者でも受講可能な「RC 技能認定第 1 種」と、2 年以上の実務経験を踏まえて、外部に有償でアドバイスできる知識を習得できる「認定 RC アドバイザー」、5 年以上の実務経験を踏まえて、RCIJ の資格認定のプログラムにて、講師を務めることが可能なレベルの知識及び実践を習得できる「認定 RC エキスパート」の 3 つの階層による認定資格講座になっています。

● 授業の方法（講義・演習）

全てオンラインによる講座として実施します。ファシリテーターと共に受講生と双方向のやりとりをしながら進行します。質疑応答はファシリテーターが適時リードしながら取り行います。

● 課題の提出方法と提出期限

講座終了後、2 週間以内に課題を提出します。

- RC 技能認定第 1 種 : レポートまたは小テスト（選択問題）
- 認定 RC アドバイザー : レポートと小テスト必須両方必須
- 認定 RC エキスパート : レポート、小テスト、面談試験

● 受講条件：受講するために必要な知識とスキル

- RC 技能認定第 1 種 : 未経験者から受講が可能
- 認定 RC アドバイザー : 「RC 技能認定第 1 種」資格保有者、かつ 2 年以上の実務経験必須、RCIJ 理事による審査を通った者
- 認定 RC エキスパート : 「認定 RC アドバイザー」資格保有者、かつ 5 年以上の実務経験、RCIJ 理事による審査を通った者

● 開講日

2021 年 3 月 5 日(金)～2021 年 6 月 18 日(金)：全 10 回（全てオンラインにて開講）

※ リアルタイムでの出席が望ましいが、やむを得ない場合は録画動画での受講も可能

● 受講料

195,800 円(税込)

※ 入会金/年会費が別途発生します。

※ 受講料については、会員様特典 10%OFF の適用が可能です。

● 支払方法

クレジットカードによるお支払い

※ 法人支払いのみ請求書による銀行振込が可能です。この場合は事務局までご連絡ください。

※ 当講座を含む認定講座については会員であることが受講の条件となります。

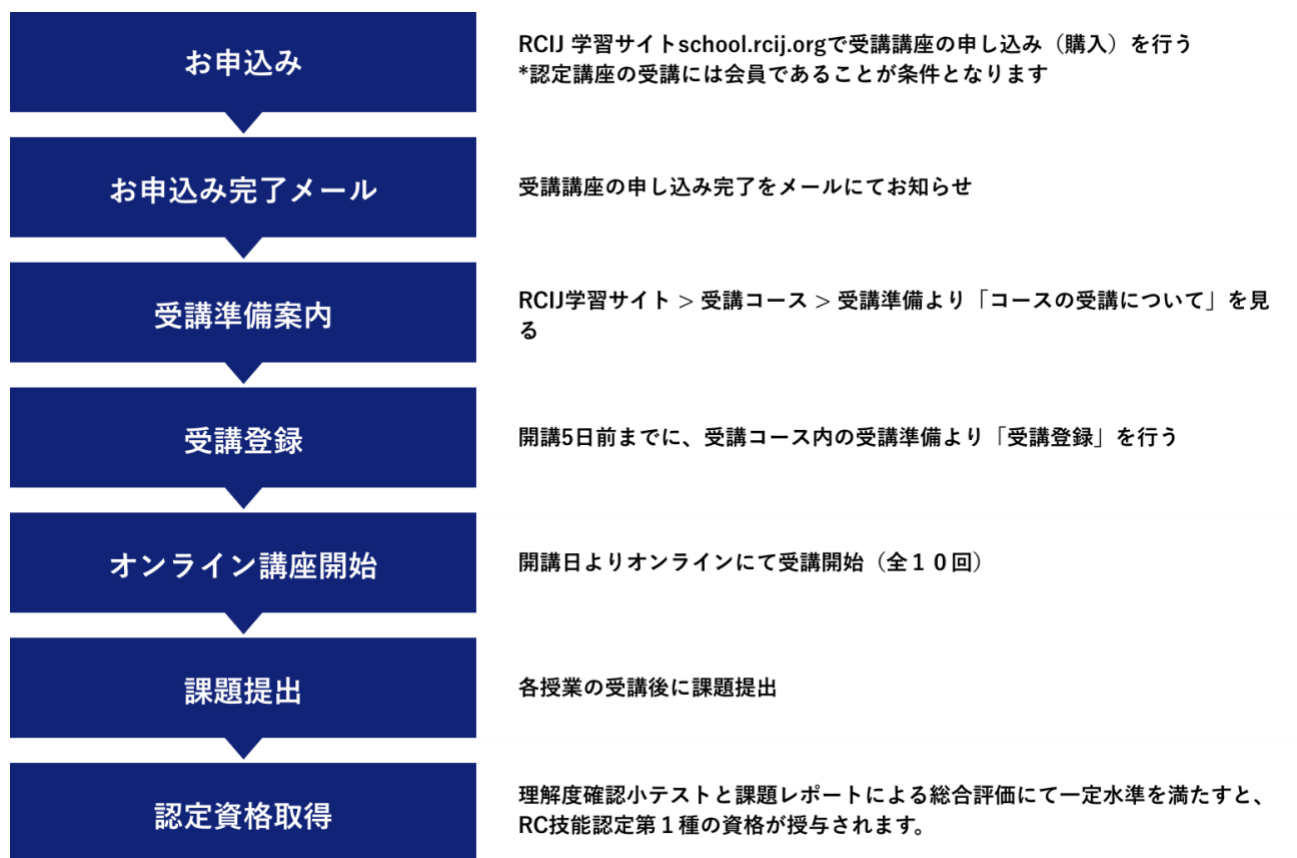
● 受講料と会員会費一覧

区分	受講料(税込)	RCIJ への入会		支払方法
		入会金(非課税)	年会費(非課税)	
個人	¥178,000 (195,800)	¥10,000	¥10,000	クレジットカード決済
学生	¥89,000 (97,900)		¥3,000	クレジットカード決済
法人	¥178,000 (195,800)		中小企業 ¥50,000 大企業 ¥100,000	請求書払い

※企業の区分については、「中小企業基本法」で定められている中小企業の条件を参考に大企業の定義をしています

- 認定講座の受講には会員であることが条件となります。
- お支払いが法人であっても、個人会員としてのお申し込みが可能です。
- 法人会員については同一企業で年間 5 名以上受講される場合や、今後開催予定の技能認定講座以外の講座を社内研修の一環としてのご利用を想定されている場合などにお勧めしております。
- 以下のケースなどにも対応しております。ご希望の場合 contact@rcij.org までお問い合わせください。
- 個人会員として申し込み：会費、受講料ともに法人負担
- 個人会員として申し込み：会費は個人で負担、受講料は法人で負担

● 受講から資格取得までの流れ



● 受講環境について

 パソコンとネット環境 インターネット接続用デバイス (PC、タブレット、スマートフォン)	 ヘッドフォン・マイク デバイスに接続するマイク、カメラ、イヤホンまたはスピーカー	 ソフトウェア PDFの閲覧、Word・Excelの使用 ができること（講義時にWord・Excelのツールなどを配布することがあります）	 ビデオ会議ツール オンライン講座を受講するには、 受講システム（Zoom）のアプリケーションをインストールする必要があります。 ※ オンライン講座ではアプリケーションをインストールいただいた上での接続をお願いしております。 ※ アプリケーションは最新版をインストールしてください。
--	--	---	--

● 「RC 技能認定第 1 種」 講座スケジュール

日時	カテゴリー	講座内容	講師
3/5 (金) 15:30-17:00	対外的対応	危機管理広報基礎	白井 邦芳
3/19 (金) 15:30-17:00		メディア社会論	木村 恭子
3/26 (金) 15:30-17:00		ソーシャルメディアのリスクと活用	山口 真一
4/2 (金) 15:30-17:00	経営・マネジメント 社内体制	BCP の考え方と作り方	昆 正和
4/16 (金) 15:30-17:00		BCM (事業継続管理) のエッセンス	昆 正和
4/23 (金) 15:30-17:00	経営・マネジメント	経営者・リーダーシップとコーポレートガバナンス	細窪 政
5/7 (金) 15:30-17:00		RC に必須の IR 基礎、CSR	永岡 英則
5/21 (金) 15:30-17:00	社内体制	法務・法律/コンプライアンス (企業倫理)	小川 義龍
6/4 (金) 15:30-17:00		戦略総務と RC	豊田 健一
6/18 (金) 15:30-17:00	-	RC 総括	大杉 春子

※開催日時、講座内容、講師は変更される場合がございます。予めご了承ください。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細 (1/10)

講座名	危機管理広報基礎
講師名	白井 邦芳
日時	2021 年 3 月 5 日 (金) 15:30 – 17:00
講師経歴 自己紹介	危機管理コンサルタント、一般財団法人リスクマネジメント協会顧問 ゼウス・コンサルティング（株）代表取締役。早稲田大学教育学部卒業後、A I U 保険会社に入社。2009 年 A C E コンサルティング（株）エグゼクティブ・アドバイザーに就任。危機管理、内部統制、事業継続、企業再生など幅広い分野で活躍。社会情報大学院大学教授。
科目のねらい・到達 目標	RC において重要な、危機管理広報についての最新事例を学び、有事の際の具体的な危機管理広報実施における基礎を習得する。
講座概要	☐ 危機管理広報が求められる背景（内部事情） ☐ 危機管理広報が求められる背景（外部事情） ☐ リスク管理と危機管理の違いとは ☐ 危機管理とは ☐ 危機管理広報とは
課題	レポート
評価基準：評価方法	
その他	

RC 技能認定第一種 各講義の詳細 (2/10)

講座名	メディア社会論
講師名	木村 恭子
日時	2021 年 3 月 19 日 (金) 15:30 – 17:00
講師経歴 自己紹介	日本経済新聞社編集委員 津田塾大学卒。筑波大学大学院カウンセリング修士号取得。読売新聞社、米ブルームバーグニュースなどで記者として首相官邸、外務省、財務省、経団連などを担当。東海大学政治経済学部経済学科教授、上智大学非常勤講師など歴任。2021 年度から早稲田大学大学院非常勤講師を兼務
科目のねらい・到達 目標	・日本と海外メディアの最新事情を把握し、メディアの立場から見る RC について理解し、リスクコミュニケーターとして自社組織にフィードバックできるスキルを習得する。 ・RC の最新事例を元に、自社組織内で起こる危機に対してどのように対応すれば適切か、メディア視点を知ることによって解決パターンを学ぶ。
講座概要	・日本と海外のメディア最新事情 ・日本及び海外におけるメディアが注目した最新 RC 事例 ・メディアの役割 ・平時から企業がメディアと取るべきコミュニケーション ・有事が起きたとき、メディアは何を見ているか ・これまでの取材歴で印象に残っている RC 事例、また名リスクコミュニケーターとは
課題	レポート
評価基準：評価方法	レポートによる評価。評価の際は、論理的に書けているか、講義を受けて内容を理解した内容になっているかを重視します。
その他	新型コロナウイルスの世界的感染拡大という、突然の「リスク」が生じた 2020 年。各国のリーダーによるメディアおよび国民とのコミュニケーションの善し悪しが浮き彫りになりました。講義では、直近の国内外の事例を取り上げながら、メディア側からみた「理想のリスクコミュニケーター像」を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細 (3/10)

講座名	ソーシャルメディアのリスクと活用
講師名	山口 真一
日時	2021 年 3 月 26 日 (金) 15:30 - 17:00
講師経歴 自己紹介	経済学者/国際大学准教授/東京大学客員連携研究員 2015 年に慶應義塾大学にて博士号取得。国際大学助教などを経て現職。 専門は計量経済学。ネットメディア論、ネットビジネス、プラットフォーム戦略などを主に研究する。他に、IT 企業顧問、独立行政法人アドバイザー、政府の広報に関する検討会委員等も務める。
科目のねらい・到達 目標	・ ソーシャルメディアの有効な活用方法とその裏側にあるリスクを理解し、刻一刻と変化するソーシャルメディアの最新状況を把握する。 ・ 炎上のメカニズムを学び、自社組織内でどのようにリスクテイクしながら運用／活用できるかを考える素地を身に着ける。 ・ 上記を踏まえた上で、組織内にて具体的な策を講じるためにリードするノウハウを習得する。
講座概要	・ 効果的な SNS 活用と情報社会のリスク ・ データ分析が明らかにする炎上の実態 ・ 炎上のメカニズムと予防・対処方法 ・ 炎上と情報社会のこれから
課題	レポート
評価基準：評価方法	レポートによる評価。評価の際は、論理的に書けているか、独創的・実用的な内容になっているかを重視します。
その他	ソーシャルメディアの活用は現代のビジネスにおいて欠かせないものです。他方、炎上というリスクは常に付きまといます。本講座では、豊富な統計データ等のエビデンスをベースに、ソーシャルメディアの持つリスクの実態と効果的な活用方法について解説します。 また、ただ知識を身に着けるだけでなく、それを論理的にアウトプットできるようにすることを目指します。 参考書 ● 『正義を振りかざす「極端な人」の正体』 (光文社) ● 『炎上とクチコミの経済学』 (朝日新聞出版)

RC 技能認定第一種 各講義の詳細（4/10）

講座名	BCP の考え方と作り方
講師名	昆 正和
日時	2021 年 4 月 2 日（金）15:30－17:00
講師経歴 自己紹介	事業継続研究家 BCP／BCM 策定・運用アドバイザー 東京都立大学経済学部卒業。ソフトウェア開発会社等で長年にわたって経営企画・マーケティング業務を経験。米国同時多発テロをきっかけに事業継続計画の構築・運用方法やリスク管理のあり方について独自に調査・研究を進めている。
科目のねらい・到達 目標	・企業を取り巻く災害リスクの特徴と事業への影響、BCP の必要性について。 ・BCP の基本的な策定プロセスと継続的な更新、組織内への展開することの意義。
講座概要	・新時代に考慮すべき災害リスク ・脅威がもたらす事業への影響 ・BCP とは何か？ ・BCP の策定ステップ（一部 BCM を含む）
課題	選択問題（10 問）
評価基準：評価方法	基本的な講義内容を理解していること。8 問以上合格
その他	・世の中の様々な情報は国内だけでなく海外のメディアにも目を向けることで、新しい視点が見つかることがある。 ・BCP の基本書として拙著『あなたが作る等身大の BCP』（日刊工業新聞社）を参照のこと。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細（5/10）

講座名	BCM（事業継続管理）のエッセンス
講師名	昆 正和
日時	2021 年 4 月 16 日（金）15:30－17:00
講師経歴 自己紹介	事業継続研究家 BCP／BCM 策定・運用アドバイザー 東京都立大学経済学部卒業。ソフトウェア開発会社等で長年にわたって経営企画・マーケティング業務を経験。米国同時多発テロをきっかけに事業継続計画の構築・運用方法やリスク管理のあり方について独自に調査・研究を進めている
科目のねらい・到達 目標	BCP と BCM の関係性、及び BCM の全体像と重要な活動要素についての理解。 BCM における総務と広報に期待される役割についても言及。
講座概要	・ BCM の意義・目的、活動の全体像 ・ エssenシャルな活動の概要 ・ BCM における総務・広報の役割
課題	選択問題（10 問）
評価基準：評価方法	基本的な講義内容を理解していること。8 問以上合格
その他	・ 読書は思考と創造力のエネルギー源。哲学、心理学、歴史、科学、社会学など、少し自分には難しいのではと思えるレベルの本を探して貪欲に読もう。 ・ BCM の参考資料：『事業継続ガイドライン第三版』（内閣府防災担当）を参照のこと。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細（6/10）

講座名	経営者・リーダーシップとコーポレートガバナンス
講師名	細窪 政
日時	2021 年 4 月 23 日（金） 15:30－17:00
講師経歴 自己紹介	グレートアジアキャピタル&コンサルティング合同会社（GACC）代表社員 慶應義塾大学卒業。信託銀行を経て、日本アセアン投資（現日本アジア投資、東証 1 部）入社。2012 年代表取締役社長に就任。2017 年に GACC を設立。経営者向けコンサルティング事業を行ないながら、上場企業 3 社・未上場企業 2 社の社外取締役・社外監査役を務める。
科目のねらい・到達 目標	・経営者の考え方、リーダーとして必要な資質や行動について学び、さらには過去の経営者達の危機対応事例を知ること、有事の際に経営者が社内外に対してどのようなコミュニケーションを取るべきかを理解する。 ・企業を取り巻くリスクに関して見逃してはならないポイントを理解し、リスクコミュニケーターとして必要な考え方、行動規範を習得する。 ・コーポレートガバナンスの最新事情を学び、経営者の関心事をより広範囲に知ること、日頃から経営者と適切に意見交換ができ、経営者に信頼されるリスクコミュニケーターになることを目指す。
講座概要	・経営者とリーダーシップ ・コーポレートガバナンスの新潮流 ・企業を取り巻くリスク ・危機に際して経営者が考えること ・経営者の危機対応事例 ・リスクコミュニケーターに必要な心構え
課題	選択問題
評価基準：評価方法	
その他	とても範囲の広いテーマですが、RC の観点から重要と思われるポイントに絞り込んで解説致します。IR を兼ねない広報の方には少し難しく感じるかもしれませんが、出来るだけ分かり易く説明するように努めます。この講義をきっかけに企業経営やコーポレートガバナンスに関心を持って下さると嬉しいです。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細（7/10）

講座名	RC に必須の IR 基礎、CSR
講師名	永岡 英則
日時	2021 年 5 月 7 日（金）15:30－17:00
講師経歴 自己紹介	株式会社 CARTA HOLDINGS 取締役 CFO 一橋大学商学部卒業。経営戦略コンサルタントを経て（株）アクシブドットコム（現 CARTA HOLDINGS）創業期に参画。CFO としてサイバーエージェントの資本参加、MBO、株式上場、経営統合等、経営管理/財務戦略全般を担う。（株）EC ナビベンチャーズ（現 VOYAGE VENTURES）を設立し、代表取締役に就任。
科目のねらい・到達 目標	・ IR/CSR について基礎を理解し、最新事例をベースに RC の観点から組織内で気をつけるべきポイントを習得する。 ・ IR 担当者が意識しているポイントを理解することで、組織内連携の核を掴む。
講座概要	第 1 部 IR の基礎 ・ IR とは何か（全体像をつかむ） ・ IR の主な機能/業務内容 ・ 開示資料にはどのようなものがあるか ・ リスクコミュニケーターにとって知っておくべき IR 上のリスク 第 2 部 CSR 概論 ・ CSR とは何か（全体像をつかむ） ・ ESG 経営の考え方 ・ 有功に実践している具体的な事例（日本・海外） ・ IR 担当者として踏まえるべきこと
課題	選択問題
評価基準：評価方法	
その他	リスクコミュニケーターは多くのステークホルダーと向き合う必要がありますが、資本市場や投資家はその中でも重要な対象になります。企業価値を中長期的に大きくしていくためにも、この分野でリスクコミュニケーターが理解しておくべきことは多いです。基本的な IR の項目から、伴走する CFO の思考/視野まで丁寧に解説します。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細 (8/10)

講座名	法務・法律/コンプライアンス（企業倫理）
講師名	小川 義龍
日時	2021 年 5 月 21 日（金） 15:30－17:00
講師経歴 自己紹介	小川綜合法律事務所所長 弁護士 早稲田大学法学部卒業。日弁連代議員・東京弁護士会常議員、広報室嘱託、広報委員会・非弁護士取締役委員会各副委員長など歴任。 サイボウズ株式会社、トヨクモ株式会社各監査役。企業顧問として危機管理・コンプライアンス管理等を指導。
科目のねらい・到達 目標	・ RC における法的に見逃せないポイントを理解し、実践の際に活用できる基礎知識を習得する。RC を法務的に考えた場合には、リスクに対する想像力・予想とその予想を回避するための法的措置が重要であり、予防法務や法令・法制度のイメージを持てるようにしたい。
講座概要	・ RC と法務（法的制度の把握とリスクへの想像力） ・ リスクの分類と適用法令 ・ リスクへの法的対策 ・ BCP の法務面と BCM
課題	選択問題（10 問）
評価基準：評価方法	
その他	リスクが現実化したら法的にどうなるのか、裁判や倒産などリスクの辿り着くところをできるだけ平易にイメージをお伝えしようと思います。この裁判や倒産にならないようにするため、或いはなっても有利に進めるためにどのような準備をしたらいいのか、こういった RC について勉強して頂きたいと思います。実際に NDA などの契約書をサンプルにしながら契約書の読み方・注意点など予防法務・契約法務についても具体的に平易にお伝えします。

RC 技能認定第一種 各講義の詳細（9/10）

講座名	戦略総務と RC
講師名	豊田 健一
日時	2021 年 6 月 4 日（金） 15:30－17:00
講師経歴 自己紹介	株式会社月刊総務 代表取締役社長、『月刊総務』編集長 早稲田大学政治経済学部卒業。株式会社リクルート、株式会社魚力で総務課長などを経験。現在、日本で唯一の管理部門向け専門誌『月刊総務』を発行している株式会社月刊総務に入社。一般社団法人ファシリティ・オフィスサービス・コンソーシアムの副代表理事や、All About の「総務人事、社内コミュニケーション・ガイド」も務める。著書に『マンガでやさしくわかる総務の仕事』、『経営を強くする戦略総務』など。
科目のねらい・到達 目標	企業を取り巻く環境を理解し、その中で求められる総務の役割、戦略総務について理解し、戦略総務的、攻めの総務としての RC について学ぶ。
講座概要	・ 企業を取り巻く環境と総務の現状と必要とされる役割 ・ 戦略総務の本質と、その必要性、実行に必要なマインド、スキル ・ 戦略総務としての平時における RC への備え ・ 戦略総務としての有事の際の心構えと実践手法
課題	選択問題
評価基準：評価方法	
その他	

RC 技能認定第一種 各講義の詳細 (10/10)

講座名	総括
講師名	大杉 春子
日時	2021 年 6 月 18 日 (金) 15:30 - 17:00
講師経歴 自己紹介	レイザー 株式会社代表取締役／危機管理広報コーチング 2020 年日本リスクコミュニケーション協会代表理事就任。昨今の広報における危機管理のニーズをうけて、危機管理広報トレーニングプログラム「KIKI (キキ)」を企業に導入し、チームビルドとコーチングを行う。
科目のねらい・到達 目標	・全 9 回のまとめを行い、全体の復習を行うことで、受講生の RC への理解を深めることを目標とする。 ・リスクコミュニケーターとしての基本事項を確認し、組織内に RC について基礎講座を展開することができる知識・ノウハウを習得する。
講座概要	前 9 回のまとめを行い、全体の復習を行うことで、受講生の RC への理解を深めることを目標とする。 ・リスクコミュニケーターを取り巻く環境 ・リスクコミュニケーターの定義と役割 ・テイクリスクの概念 ・action 平時に備えること ・action 有事に行うこと ・リスクセンスの磨き方 トレンドを読むための情報収集 ・今、気をつけたいリスクのトレンド
課題	なし
評価基準：評価方法	
その他	RC 領域の業務は、時として暗い、つまらない、ほめられないなどのイメージを持たれることがあります。特にこれからの時代組織に不可欠なスキルであることは間違いありません。組織内で関係者を巻き込んで行う必要のある RC を行う担当者はチームに対し正論を言う場面が多いです。しかし正論ほど伝え方を工夫しなければいけません。出来るだけバランス感覚を身につけていただけるよう講座はわかりやすく、WS を設けながら行いたいと思います。